

平成26年度福岡市NPO活動推進補助金事業



体験型科学教室プロジェクト 「わくわく放課後サイエンス教室」

実施報告

NPO法人エデュケーションエーキューブ



2015年4月28日

ミッション（プロジェクトの狙い）



経済的な困難を抱えている子ども達へe-ラーニングでの学習支援を行うNPO法人エデュケーションエーキューブと地域活性化を目的に活動する九州大学の学生団体iTOP（アイトップ）の協働で、理科離れが進んでいる子供たちを対象とした低価格な体験型科学教室「わくわく放課後サイエンス教室」を実施します。



団体概要 (Education A³)



名称	NPO法人エデュケーションエキューブ (Education A ³)
所在地	福岡県福岡市西区
設立	2013年8月2日
代表理事	草場勇一 (准認定ファンドレイザー / 認定教育コーチ初級)
理事	佐村礼二郎 (みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社 副部長) 増山秀信 (株式会社 ビズアクセラ代表取締役) 竹井雅文 (元修学館 館長) 山下繁憲 (株式会社しげいち 代表取締役)
監事	伊藤雅浩 (内田鮫島法律事務所 弁護士 パートナー) 山本教貴 (山本公認会計士事務所)
事業内容	経済的な困難を抱えている家庭の子ども達に対してパソコンやタブレットを使用した e-learningによる学習支援事業
ミッション	「すべての子ども達に学びの場を」

～生まれ育った環境で子ども達の未来が決まらない社会へ～

団体概要 (iTOP)



名称	地域活性化団体 iTOP
設立	2011年2月22日
メンバー数	106名
代表	今井 宙
ミッション	地域活性化を通じた自己成長
実施プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・糸島市地域活性化プランコンテスト・九大生の教える 科学と未来の体験教室・トウクトウク糸島走りタイ!・いとらいとプロジェクト・商店街活性化プロジェクト
表彰履歴等	<p>【九大生の教える 科学と未来の体験教室】</p> <ul style="list-style-type: none">・チャレンジ&クリエイション(C&C) プロジェクト2011 優秀賞・チャレンジ&クリエイション(C&C) プロジェクト2012 最優秀賞・糸島市のまちづくり事業 採択・九州大学開学記念式典において九州大学総長より表彰

プロジェクト概要

～九大生が教える楽しくて理科が得意になる教室～

<わくわく放課後サイエンス教室>

<第1回>



静電気の教室

帯電について学び、電気クラゲや放電するコップを作成し一緒に静電気を体験しよう！

<第2回>



生物の教室

セキツイ動物の分類を学び、ヒトや魚の共通点や相違点を知るために、一緒にニボシを解剖しよう！

<第3回>



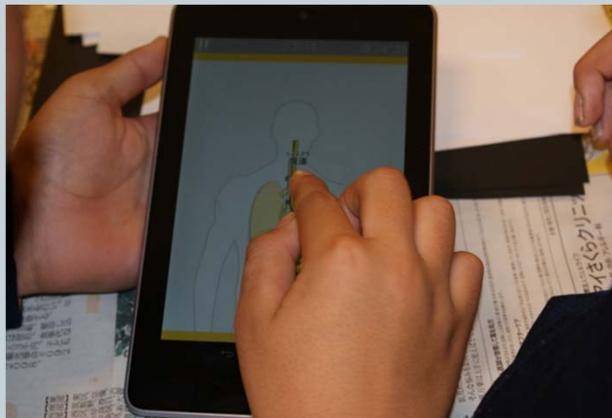
気象の教室

さまざまな気象現象について学んで、一緒に雲を作って気象現象を体感しよう！

実施風景①



学習テーマに沿ってアプリを使った学習、体験型授業、クイズ大会等を実施し、大学生と一緒に、楽しみながら学習を行った。



参加生徒の感想 (アンケートより)

中1 男子



実験や説明がわかりやすく、楽しかったです！

中1 男子



自分で電気を作って体験してみ
て、とても楽しかったです！

小6 男子



生物のこともよく分かったし、
ゲームも楽しかったので良かっ
たです！

小6 男子



とても分かりやすくてタブレッ
トなどもとても楽しかったで
す！

プロジェクトの成果と反省



中学生向けの科学教室プログラムを開発し、幅広い子ども達への参加機会を提供

<成果>

- 中学生向け科学教室プログラムの開発
 - 中学生向けの3つの科学教室プログラムを開発することができた
- 参加機会の提供
 - 補助金により全3回で500円での参加費とすることができ、参加のハードルを下げることもできた。

<課題>

- プロモーション不足
 - 目標の20名に対して参加者が13名と目標を下回った。
- 中学生（高学年）向け訴求
 - 中学生（高学年）の参加率が低く中学生へのアピールが十分ではなかった。
- ITのさらなる活用
 - タブレットやITの活用場面が当初想定よりは少なかった

今後の予定



2015年度は科学教室プログラムを再検討し、2016年度には定期的開催を目指す。

終了

2014年度
科学教室プログラ
ムの開発・実施
(九大学研都市)

2015年度
科学教室プログラ
ムの再検討

2016年度
科学教室
の定期開催